

施工ガイド

設計・施工に関する下地のご注意 まずは施工可能かどうかをご確認ください。

1 下地を新設する場合

<p>施工可能な下地の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ● せっこうボード (推奨 12.5mm以上) ● けい酸カルシウム板 (推奨 6mm以上・比重0.8以上) ● モルタル面 (含水率 4.5%以下・密着強度 1.0N/mm²以上・不陸2mm以下・平滑な金ゴテ仕上) ● ラワン合板 (推奨 9mm以上) <p>※上記の下地でも、化粧材の施工部分に塗装などの仕上げが施されると、接着不良によるハガレが発生する可能性がありますので、ご注意ください。</p> <p>※下地材の選定と構造が、建築基準法や火災予防条例などの法令・法規に適合したものであるか、ご確認ください。</p>	<p>そのままでは施工できない下地の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ● RC壁への直貼り → モルタル仕上げ (下記 ②-③ 参照) ● ALC躯体への直貼り → GL工法 (下記 ②-④ 参照) 及び鋼製壁作製 (下記 ②-⑤ 参照) ● 湿気を帯びた下地 → 充分乾燥させる
	<p>そのままでは施工できない環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 施工場気温が5℃未満 → 気温を5℃超に上げてください。 ● 施工場の湿度が90%超 → 湿度を90%未満に下げてください。 ● 結露が予想される時 → 結露しないように対策を取ってください。

2 躯体への下地材固定方法

<p>A 鋼製壁</p> <p>スタッドは65形以上を使用してください。下地材(せっこうボード等)を専用ビスで200~300mmピッチで固定してください。※枠廻り・出隅・入隅部分の下地材端部は専用ビスで確実に固定してください。</p> <p>B RC壁 モルタル仕上げの場合</p> <p>モルタルはRC壁に対して接着が良いものを選定し、不陸がないように仕上げてください。※モルタルの含水率が4.5%以下になってから施工してください。(密着強度 1.0N/mm²以上・不陸2mm以下・平滑な金ゴテ仕上)</p> <p>C RC壁 木胴縁の場合</p> <p>24mm×45mm程度の縦胴縁を300mm・横胴縁を450mmピッチで躯体にアンカー・カール・釘で固定し、下地材(せっこうボード等)を専用ビス(300mmピッチ)と接着剤を併用して固定してください。</p>	<p>D RC壁 GL工法*の場合 *吉野石膏株式会社による工法です。</p> <p>せっこうボードメーカーの仕様を厳守してください。</p> <p>※GLボンドは水性ですので、施工後は養生を充分取ってください。目安として約20日間は養生が必要です。(乾燥したことを確認してから施工してください。)</p> <p>特に、出隅においては、30mm×30mm×0.4mmの垂鉛折りコーナーで補強してください。</p> <p>出隅は垂鉛折りコーナーで確実固定を!</p> <p>推奨「垂鉛折りコーナー」 (株) 創建 ☎ 03-5992-6411 品番: 01007</p> <p>【施工方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 下地材に垂鉛折りコーナー材を速乾ボンドで完全に接着する。 2. 垂鉛折りコーナー材に接触しないよう専用仮留めテープを貼付ける。 3. 垂鉛折りコーナー材の上、及び専用仮留めテープの内周に専用接着剤(SE-1)を塗布する。
--	---

1 既存下地に施工する場合

<p>施工可能な下地の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ● タイル面 (チェック方法: 下記 ②-⑥、⑦ 参照) [浮き・ハガレがなく不陸が5mm未満(目安)の場合に限りです] ● モルタル面 (含水率 4.5%以下・密着強度 1.0N/mm²以上・平滑な金ゴテ仕上 不陸が2mm以下の場合 → M工法 不陸が2mmを超える場合 → ONタイル工法) <p>セラー以外の化粧材でONタイル工法をご検討される場合は、必ず最寄りの当社へお問い合わせください。</p>	<p>そのままでは施工できない下地の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 塗装面 → 塗膜の除去、もしくは施工可能な下地材を上貼りする。(ビス固定等) ● クロス面 → クロスを除去し、施工可能な下地材を上貼りする。(ビス固定等) ● 化粧面 → 化粧部分の除去、もしくは施工可能な(突板・シート・樹脂等)下地材を上貼りする。(ビス固定等)
---	--

2 下地状態のチェック・対処方法

<p>A タイル表面の汚れ</p> <p>タイル表面の汚れは十分に除去してください。</p> <p>B タイル表面の不陸</p> <p>右図のように直定規・下げ振り・レーザーレベル等を用いて壁面の水平・垂直の不陸を測定してください。</p> <p>※現下地で施工可能な最大不陸は5mm未満(目安)です。</p> <p>5mmを超える場合は、下地を作製してください。</p> <p>※タイル表面の不陸調整は仮留めテープの貼り増しで行ってください。</p> <p>タイル表面にはプライマーは塗布しないでください。</p> <p>下地が凸の場合 水平な定規をあてがい、隙間を測定。</p> <p>下地が凹の場合 糸を張り、隙間を測定。</p> <p>C 表面タイルの浮きの有無</p> <p>古いタイル壁面では浮き・剥がれの危険が高いため、右図のように打診検査(テストハンマーなどでタイル表面を叩きタイルの異常音を音で判断)でタイルの浮きを調べてください。浮いたり剥がれたタイルは右の方法での補修をお勧めします。</p>	<p>対処方法 エポキシ樹脂モルタルの充填</p> <p>比較的小規模なタイル剥離については、剥離部分に充填補修用のエポキシ樹脂モルタルを充填してください。アイカ製品 ジョリシール JB-18L(プライマー・タックコート)とJE-9001(専用骨材)</p> <p>対処方法 モルタルの充填又は全面打設</p> <p>比較的小規模なタイル剥離から全面タイルはつりの補修まで幅広い対応が可能です。躯体(コンクリート・ブロック)とモルタルとの密着が悪いと剥離の原因になりますので注意してください。接着強度: 1.0N/mm²以上</p> <p>対処方法 下地作製</p> <p>タイルと付着強度が良好な薄塗りできるモルタルで不陸調整を行うか、6mm以上のけい酸カルシウム板(比重1.0)または、9mm以上のラワン合板で下地を作製してください。【ご注意】下地の作製にあたっては、建築基準法、火災予防条例での法令・法規に従って作製してください。</p> <p>※モルタル: 含水率4.5%以下・付着強度1.0N/mm²・平滑な金ゴテ仕上</p> <p>※けい酸カルシウム板、ラワン合板: 必ず躯体にビス固定してください。</p> <p>※下地材をモルタル打設、けい酸カルシウム板、ラワン合板で作製した部分は予めプライマー(アイカ アイボンJW-900N(溶剤系)もしくはRA-900(水系))を全面塗布してください。</p> <p>対処方法 ピンニングによる樹脂注入固定</p> <p>下図のようにエポキシ樹脂等を浮きのあるタイル部分に注入して、浮き部分の剥離・剥落を防止します。</p> <p>アイカ製品 ジョリシール JB-18</p> <p>JB-18をグリズガンにて穴の最深部より充填していきます。タイル表面と同じレベルになるまで充填します。樹脂が固まった後、再度打診検査を行い充填状況を確認します。</p> <p>【注入量: 25~30g/1穴】</p>
---	--

【ご注意】 上記に該当しない下地材についての施工の可否は、必ず最寄りの当社へお問い合わせください。

施工ガイド

セラール・アイカメタル不燃 M 工法

M工法とは、ボード系下地にアイカの不燃壁材やメラミン壁材を施工するための工法です。

施工前にご確認ください

下地のチェック

まずは「**設計・施工に関する下地のご注意**」P.87をよくお読みの上、施工可能な下地であることをご確認ください。そのままでは施工できない下地の場合、適切な処理を行ってから施工してください。また、下地材の選定と構造の作製は、建築基準法や火災予防条例などの法令・法規に適合したものであるか、ご確認ください。

プライマー塗布が必要な下地

- モルタル面
- けい酸カルシウム板
- ラワン合板

専用プライマー
アイカ エコエコボード JW-900N (溶剤系) もしくは RA-900 (水系) を全面に塗布してください。

安全対策

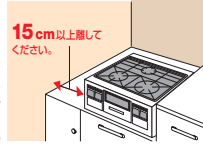
- 溶剤系プライマー等を使用する際は、カタログ本体の裏表紙の「安全にご使用いただくために」の次の項目を追加実施ください。
- 1 換気には十分注意する。
 - 2 火気及び換気に十分注意する。
 - 3 皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク又は送気マスク、保護手袋、保護メガネ、前掛け等を着用する。

貼付壁の確認 (加熱調理機器廻り)

⚠ キッチン部壁面の下地構造は法令に従い、施工してください。また、セラール表面への極度な熱伝導を防ぐため、次のことが守られていることを確認してください。

ビルトインタイプコンロの場合

- コンロの側面からセラールの表面まで15cm以上離してください。15cm以上離せない場合、コンロの熱により変色やコゲが生じ美観を損なう事がありますのでステンレスパネルを使用してください。(変色やコゲが発生しても不燃性能には問題ありません)
- グリルの排気口が背面側に設置しているタイプのクックトップについてはグリル排気で壁面が高温になり、変色やコゲが生じる場合があります。奥行き65cm未満のカウンターで使用する場合はステンレスパネルを使用してください。
- 奥行き65cm以上のカウンターで使用する場合はコンロやグリルダクトと壁面が近接する位置に設置するなど、壁面が高温になる懸念がある場合はステンレスパネル (ZK-8等) を使用してください。



据え置きタイプコンロの場合

- 据え置きタイプのコンロで壁面とコンロの距離が15cm以上離せない場合 (側面、背面) はステンレスパネルを使用してください。
- ※以上の条件を満たしても直接炎がセラールに当たらないようご注意ください。
- ※コンロの周囲の壁面構造は各自自治体の火災予防条例などにより規制されます。規制に従った構造を作製してください。
- ※業務用のコンロや調理機器に近接する部位には使用しないでください。
- ※加熱された鍋類が直接セラールに触れる事が無いようにしてください。



目地について ●コンロに近接する部位に目地を取らないでください。

加工工具

加工に関する道具は下記をお使いください。但し、ハマカケが起らないように刃物は新しいものをお選びください。

- 切断加工 防じん丸ノコ (チップソー・ダイヤモンドソー)

施工時における切断用刃物について
(刃物の規格は「外径」「刃厚」「刃数」よりなっています。「外径」「刃厚」はお手元のハンディーに合ったものを、「刃数」はできるだけ多いものをご使用ください。

セラール		アイカメタル不燃	
外径	刃数	外径	刃数
100φ	60P	165φ	72P
125φ	80P		
165φ	72P	185φ	72P

※アイカメタル不燃は左記の木工用のチップソーで切断可能ですが、刃の消耗は速くなりますので、ご了承ください。

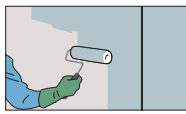
- 穴あけ加工 ドリル (直径12φ以下の場合)、ホールソー 自在ざり (直径12φを超える場合)

- 仕上げ サンドペーパー、ヤスリ

施工の手順

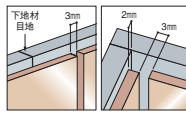


1 プライマー処理



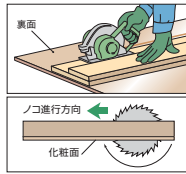
- 下地材がモルタル面・合板・けい酸カルシウム板の場合、全面に予めプライマー [アイカ エコエコボード JW-900N (溶剤系) もしくは RA-900 (水系)] を塗布してください。
- 標準塗布量: 3×8サイズで3~4枚分/kg

2 割付け

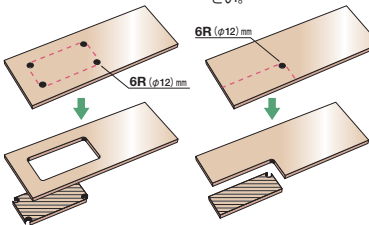


- 下地材の目地と仕上げ材の目地が重ならないように、割付けてください。
- 突きつけ施工はできません。必ず、3mm以上の目地を取ってください。
- ジョイナーで施工する場合にも、必ずクリアランスを取ってください。

3 カット・加工



- 切断は当木を用いて、必ず刃物を表面から入れて裏面から出るようにしてください。(表面には保護フィルムが貼ってあります)
- 穴あけ・切り欠きは必ず6R (φ12) 以上の刃物を用いて、表面からコーナー部に穴をあけてから行ってください。



穴あけの手順

- ①ドリルで四隅に穴をあける。
- ②ノコでカットする。
- ③カット面を面取りする。

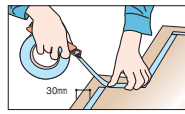
切り欠きの手順

- ①ドリルで角に穴をあける。
- ②ノコでカットする。
- ③カット面を面取りする。

ご注意

セラールは、図のように**ピン角でカット**した場合、クラック発生のおそれがありますので、切り欠きでなく、複数枚を使用する割付けをしてください。

4 仮留めテープ貼り



- 仕上げ材の端部に接着剤を塗布するためのスペース 30mmをあけて、仮留めテープを貼付けてください。

5 接着剤塗布



- 接着剤は高さ4mmで塗布してください。
- 仕上げ材外周には必ず接着剤を塗布してください。(外周塗布がない場合や、塗布量が少ない場合には、端部の浮きが発生することがあります)
- 仕上げ材3R×8R板に対して、アイカ エコエコボードSE-1を1本が目安の塗布量です。塗布量が少ない場合、剥がれなどの原因となります。3R×8R以外のサイズにつきましては、接着剤の塗布量および仮留めテープの使用量が異なります。
- 接着剤塗布後10分以内に貼付け仕掛けてください。

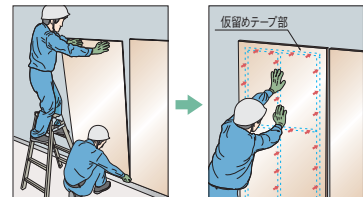
【標準塗布パターン】

凡例: セラールまたはアイカメタル不燃 (裏面), 仮留めテープ, 接着剤

- 一般 端部は必ず直線で塗布, 内部は必ず波線で塗布
- 切り欠き 端部は必ず直線で塗布, 内部は必ず波線で塗布
- コンセントなどの穴あけ 端部は必ず直線で塗布, 内部は必ず波線で塗布

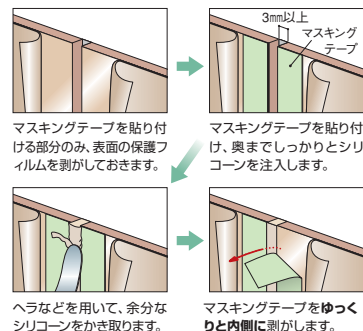
穴あけ部分拡大図

6 貼付け



- 中央部に浮きが発生しないように注意して、仕上げ材を貼付けてください。
- 仮留めテープ部をしっかりと押さえてください。※接着剤部を押さえると泣き割れの恐れがあります。

7 シーリング処理



- マスキングテープを貼り付ける部分のみ、表面の保護フィルムを剥がしておきます。
- マスキングテープを貼り付け、奥までしっかりとシリコンを注入します。
- ヘラなどを用いて、余分なシリコンをかき取ります。
- マスキングテープをゆっくりと内側に剥がします。

8 保護フィルム剥がし

- 2日間以上養生後、表面の保護フィルムを剥がしてください。

完成

【施工についてのご注意】

- カット面は目の細かいサンドペーパーを当木にそえて軽く糸面取りしてください。
- 目透かしシーリング納めの場合、カットしてない面も軽く糸面取りしてください。

セラール ONタイル工法

ONタイル工法とは、タイルの上に壁材を施工するための工法です。

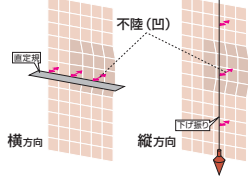
施工前のご確認ください

下地のチェック

まずは「**設計・施工に関する下地のご注意**」P.87をよくお読みのうえ、施工可能な下地であることをご確認ください。そのままでは施工できない下地の場合、適切な処理を行ってから施工してください。

タイル表面の不陸の測定方法

下図のように直定規・下げ振り・レーザーレベル等を用いて壁面の水平・垂直の不陸を測定してください。ONタイル工法で調整可能な**最大不陸は5mm未満**(目安)です。5mmを超える場合は、下地を製作してください。

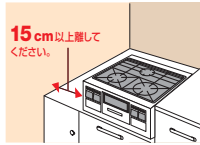


貼付壁の確認 (加熱調理機器廻り)

▲ キッチン部壁面の下地構造は法令に従い、施工してください。また、セラール表面への極度な熱伝導を防ぐため、次のことが守られていることを確認してください。

ビルトインタイプコンロの場合

- コンロの側面からセラールの表面まで15cm以上離してください。15cm以上離せない場合、コンロの熱により変色やコゲが生じ美観を損なう事がありますのでステンレスパネルを使用してください。(変色やコゲが発生しても可燃性部には問題ありません)
- グリルの排気口が背面側に設置しているタイプのクックトップについてはグリル排気で壁面が高温になり、変色やコゲが生じる場合があります。奥行き65cm未満のカウンターで使用する場合はステンレスパネルを使用してください。
- 奥行き65cm以上のカウンターで使用する場合もコンロやグリルダクトと壁面が近接する位置に設置するなど、壁面が高温になる懸念がある場合はステンレスパネル(ZK-8等)を使用してください。



据え置きタイプコンロの場合

- 据え置きタイプのコンロで壁面とコンロの距離が15cm以上離せない場合(側面、背面)はステンレスパネルを使用してください。
- ※以上の条件を満たしても直接炎がセラールに当たらないようにご注意ください。
- ※コンロの周囲の壁面構造は各自治体の火災予防条例などにより規制されます。規制に従った構造を製作してください。
- ※業務用のコンロや調理機器に近接する部位には使用しないでください。
- ※加熱された鍋類が直接セラールに触れる事が無いようにしてください。

加工工具

加工に関する道具は下記をお使いください。但し、ハマカケが程こらないように刃物は新しいものをお選びください。

- 切断加工 防じん丸ノコ (チップソー・ダイヤモンドソー)

施工時における切断用刃物について

(刃物の規格は「外径」「刃厚」「刃数」よりなっています。「外径」「刃厚」はお手元のハンディソーに合ったものを、「刃数」はできるだけ多いものをご使用ください。

セラール	
外径	刃数
100φ	60P
125φ	80P
165φ	72P

※セラール用のチップソーをご用意しています。P.84参照

■ 穴あけ加工

ドリル(直径12φ以下の場合)、ホールソー 自在ざり(直径12φを超える場合)、ホールソー、トリマー

■ 仕上げ

サンドペーパー、ヤスリ

施工の手順



1 下地処理



- クリーナー洗浄→水洗浄→乾拭き等で施工面を清潔にしてください。
- 左記**タイル表面の不陸の測定方法**や下図を参考に不陸測定をしてください。測定は縦・横・斜で行ってください。

■ 下地が凸の場合

水平な定規をあてがい、隙間を測定。

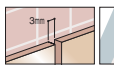


■ 下地が凹の場合

糸を張り、隙間を測定。

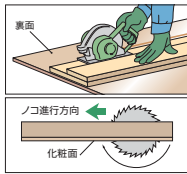


2 割付け

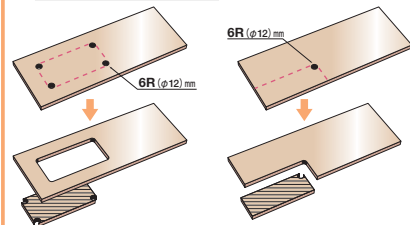


- 突きつけ施工はできません。必ず、3mm以上の目地を取ってください。
- ジョイナーで施工する場合にも、必ずクリアランスを取ってください。

3 カット・加工



- 切断は当木を用いて、必ず刃物を表面から入れて裏面から出るようにしてください。(表面には保護フィルムが貼ってあります)
- 穴あけ・切り欠きは必ず6R(φ12)以上の刃物を用いて、表面からコーナー部に穴をあけてから行ってください。



穴あけの手順

- ①ドリルで四隅に穴をあける。
- ②ノコでカットする。
- ③カット面を面取りする。

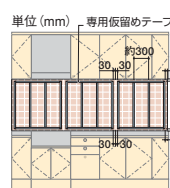
切り欠きの手順

- ①ドリルで角に穴をあける。
- ②ノコでカットする。
- ③カット面を面取りする。

📌 ご注意

セラールは、図のように**ピン角でカット**した場合、クラック発生のおそれがありますので、切り欠きでなく、複数枚を使用する割付けとしてください。

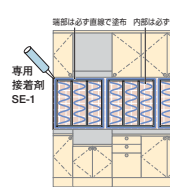
4 仮留めテープ貼付けによる不陸調整



例) 4mm不陸: 1mm厚+3mm厚

- 貼付タイル面の端部に接着剤を塗布するための**スペース30mm**をあけて、仮留めテープを貼ってください。
- 貼付面の中央部は仮留めテープが約300mmピッチ(左図)になるようにしてください。
- 不陸の調整は1mm厚及び3mm厚の仮留めテープを重ねています。

5 接着剤塗布



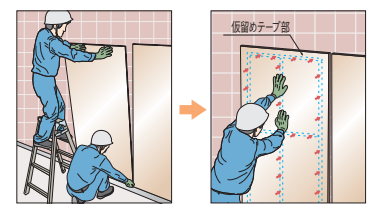
- 接着剤は**仮留めテープの厚さより3mm以上の高さ**になるように塗布してください。
- 貼付タイル面の**外周**には必ず接着剤を塗布してください。(外周塗布がない場合や、塗布量が少ない場合には、端部の浮きが発生することがあります)
- 貼付タイル面3R×8Rの面積に対して、専用接着剤は2本(アイコエコボンドSE-1)が目安の塗布量です。(不陸が無い場合)塗布量が少ない場合、割れなどの原因となります。下記条件により**専用接着剤を選定**ください。
- 接着剤塗布後**10分以内**に貼付け圧着してください。
- ※専用接着剤使用時のご注意
不陸0~4mmの場合⇒SE-1
ただし不陸が5mm以上の場合、気温が5℃以下の場合は施工できません。

コーナー部分等の塗布パターン

凡例：
 セラール(表面)
 仮留めテープ
 接着剤
 タイル面

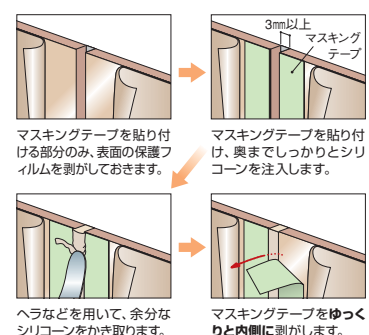
- 切り欠き部
- コンセント部

6 貼付け



- 中央部に**浮き**が発生しないように注意して、仕上げ材を貼ってください。
- 仮留めテープ部**をしっかりと押さえてください。※接着剤部を押さえるとはがし易い恐れがあります。

7 シーリング処理



8 保護フィルム剥がし

- 2日間以上養生後、表面の保護フィルムを剥がしてください。

完成

【施工についてのご注意】

- カット面は目の細かいサンドペーパーを当木にそえて軽く糸面取りしてください。
- 目透かしシーリング納めの場合、カットしてない面も軽く糸面取りしてください。

施工ガイド

セラール バスルーム用

浴室にはセラール バスルーム用をご使用ください。

施工前にご確認ください

浴室壁面へのセラールの施工に際し、躯体が断熱構成になっていない場合に、セラール表面に裏面の接着剤位置に結露の跡が出る場合があります。躯体構成に断熱層を設計して頂きますようお願い致します。特に改修の場合は躯体構成にご注意ください。

既存下地に施工する場合

タイル面（浮き・ハガシがなく不陸が5mm未満（目安）の場合に限り）（チェック方法：下記②、右記③参照）

既存下地に施工する場合

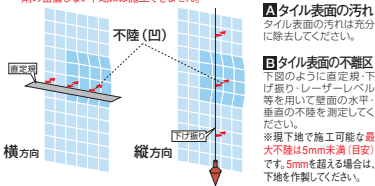
***新築浴室の場合も施工方法は同じです。**

- 特製ラワン合板（推奨 12mm以上）〔針葉樹合板は不可〕
 - けい酸カルシウム板（推奨 8mm以上）〔比重1.0〕
 - モルタル（含水率4.5%以下）※ZK-22、ZK-23使用時に限りです。
- ※上記下地の場合、全体に予めプライマー（JW-900N）塗布してください。

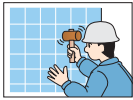
施工に適さない地（一部例）

- ALC ●コンクリートブロック ●RC面 ●ユニットバス ●耐水せっこうボードなど

※シート防水、塗膜防水の上への施工、表面・構造強度、耐水強度の弱い下地、接着剤の密着しない下地には施工できません。



下地状態のチェック・対処方法



表面タイルの浮きの有無

古いタイル壁面では浮き・剥がれの危険が高いため、左図のように打診検査（金槌でタイル表面を叩きタイルの異常音を音で判断）でタイルの浮きを調べてください。浮いたり剥がれたタイルは以下の方法での補修をお薦めします。

エポキシ樹脂モルタルの充填

比較的小規模なタイル剥離については、剥離部分に充填補修用のエポキシ樹脂モルタルを充填してください。

アイカ製品

ジョリシール JB-18L（プライマー・タックコート）と JE-9001（専用骨材）

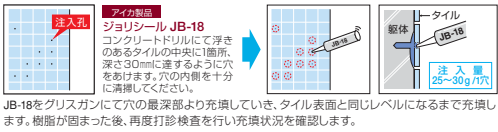
モルタルの充填又は全面打設

比較的小規模なタイル剥離から全面タイルはつりの補修まで幅広い対応が可能です。躯体（コンクリート・ブロック）とモルタルとの密着が悪いと剥離の原因になりますので注意してください。

接着強度：1.0N/mm²以上

ピンニングによる樹脂注入固定

下図のようにエポキシ樹脂等を浮きのあるタイル部分に注入して、浮き部分の剥離・剥落を防止します。



JB-18をグリスガンにて穴の最深部より充填していき、タイル表面と同じレベルになるまで充填します。樹脂が固まった後、再度打診検査を行い充填状況を確認します。

下地作製

タイルと付着強度が良好な薄塗りができるモルタルで不陸調整を行うが、6mm以上のけい酸カルシウム板（比重1.0）または、12mm以上のラワン合板で下地を作製してください。

安全対策

溶剤系プライマー等を使用する際は、カタログ本体の裏表紙の「安全にご使用いただくために」の次の項目を追加実施ください。

- 1 換気には十分注意する。
- 2 火気及び換気に十分注意する。
- 3 皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク又は送気マスク、保護手袋、保護メガネ、前掛け等を着用する。

加工工具

加工に関する道具は下記をお使いください。但し、ハマカケが起らないように刃物は新しいものをお選びください。

切斷加工 防じん丸ノコ（チップソー・ダイヤモンドソー）

（施工時における切断刃物について）刃物の規格は「外径」「刃数」よりなっています。「外径」「刃数」はお手持のハンデソーに合ったものを、「刃数」はできるだけ多いものをご使用ください。

セラール	セラール
外径	刃数
100φ	60P
125φ	80P
165φ	72P

※加工工具は集塵機付きのものをご使用ください。

穴あけ加工

ドリル（直径12φ以下の場合）、自在刃（直径12φを超える場合）、ホルソー、ジグソー等

仕上げ

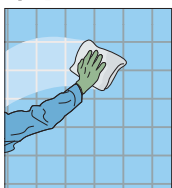
サンドペーパー、ヤスリ

施工の手順

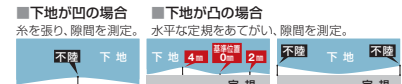


下記はタイル面、モルタル面（不陸5mm未満）の施工手順です。詳しくは施工説明書「バスルーム壁・天井用」を参照ください。けい酸カルシウム板、特製広葉樹合板で下地を新設し、不陸が1mm未満の場合は施工説明書「バスルーム壁・天井用 平滑下地」を参照ください。

1 下地処理



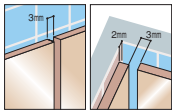
- クリーナー洗浄 → 水洗浄 → 乾拭き 等で施工面を清潔にしてください。
- 左記タイル表面の不陸の測定方法や下図を参考に不陸測定をしてください。測定は縦・横・斜で行ってください。



2 プライマー処理

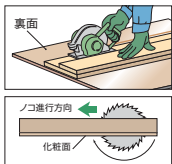
- 下地材をモルタル打設、合板、けい酸カルシウム板で作製した部分は予めプライマー（アイカ エコエコポンド JW-900N（溶剤系））を全面塗布してください。

3 割付け

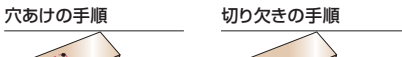


- けい酸カルシウム板で下地作製の場合、下地材の目地と仕上げ材の目地が重ならないように、割付けてください。
- 突きつけ施工はできません。必ず、3mm以上の目地を取ってください。
- ジョイナーで施工する場合にも、必ずクリアランスを取ってください。

4 カット・加工

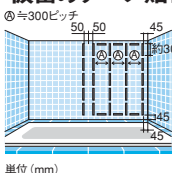


- 切断は当木を用いて、必ず刃物を表面から入れて裏面から出るようにしてください。（表面には保護フィルムが貼ってあります）
- 穴あけ・切り欠きは必ず6R(φ12)以上の刃物を用いて、表面からコーナー部に穴をあけてから行ってください。



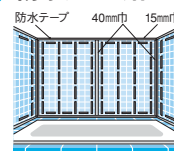
ご注意
セラールは、図のようにピン角でカットした場合、クラック発生の恐れがありますので、切り欠きではなく、複数枚を使用する割付けしてください。

5 仮留めテープ貼付けによる不陸調整

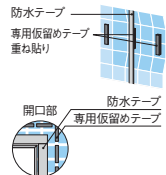


- 貼付タイル面の端部に接着剤を塗布するためのスペース30mmをあけて、仮留めテープを貼付けてください。
 - 貼付面の中央部は仮留めテープが約300mmピッチ（左図）になるようにしてください。
 - 不陸の調整は1mm厚及び3mm厚の仮留めテープを重ねて行います。
- 例) 4mm 不陸：3mm厚 + 1mm厚

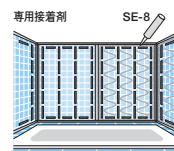
6 防水テープ貼り



- 浴室工法と一般工法の最大の違いが防水テープを併用することです。防水テープが目地切れによる表面からの水の進入に備えます。
- 不陸（凹凸）部分は仮留めテープで調整。配管などの開口部分も周囲を防水テープで囲みます。

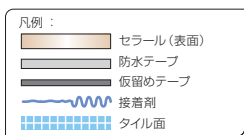
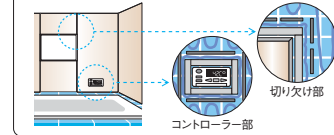


7 接着剤塗布

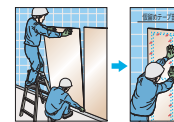


- 接着剤は仮留めテープの厚さより3mm以上の高さになるように塗布してください。
- 貼付タイル面の外周には必ず接着剤を塗布してください。（外周塗布がない場合や、塗布量が少ない場合には、端部の浮きが発生することがあります）
- 切り欠き部分の周囲や機具を取り付ける部分には必ず接着剤を塗布してください。塗布量が少ない場合、クラックが発生しやすくなります。
- 貼付タイル面3×8サイズの面積に対して、専用接着剤アイカエコエコポンド SE-8 4本が目安の塗布量です。塗布量が少ない場合、剥がれなどの原因となります。（不陸が無い場合）
- 接着剤塗布後10分以内に貼付け圧着してください。

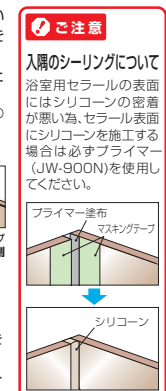
コーナー部分等の塗布パターン



8 貼付け

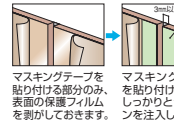


- 中央部に浮きが発生しないように注意して、仕上げ材を貼付けてください。
- 仮留めテープ部をしっかりと押さえてください。※接着剤部を押さえると泣き割れの恐れがあります。



ご注意
入隅のシーリングについて浴室用セラールの表面にはシリコンの密着が悪い為、セラール表面にシリコンを施工する場合は必ずプライマー（JW-900N）を使用してください。

9 シーリング処理



- マスキングテープを貼り付ける部分のみ、表面の保護フィルムを剥がしておきます。
- マスキングテープを貼り付け、奥までしっかりとシリコンを注入します。
- ヘラなどを用いて、マスキングテープをゆっくりと内側に剥がします。

10 保護フィルム剥がし

- 2日間以上養生後、表面の保護フィルムを剥がしてください。

【施工についてのご注意】

- カット面は目の細かいサンドペーパーを当木にそえて軽く糸面取りしてください。
- 目透かしシーリング納めの場合、カットしていない面も軽く糸面取りしてください。

完成

アイカモアウッド不燃・アイカハイボード不燃・マーレス不燃・ウェッジプレス不燃

施工前のご確認ください

下地のチェック

まずは「**設計・施工に関する下地のご注意**」P.86をよくお読みのうえ、施工可能な下地であることをご確認ください。そのままでは施工できない下地の場合、適切な処理を行なってから施工してください。また、下地材の選定と構造の作成は、建築基準法や火災予防条例などの法令・法規に適合したものであるか、ご確認ください。

プライマー塗布が必要な下地

- モルタル面 ●けい酸カルシウム板 ●ラワン合板

専用プライマー
アイカ エコエコボンドJW-900N(溶剤系)もしくはRA-900(水系)を全面に塗布してください。

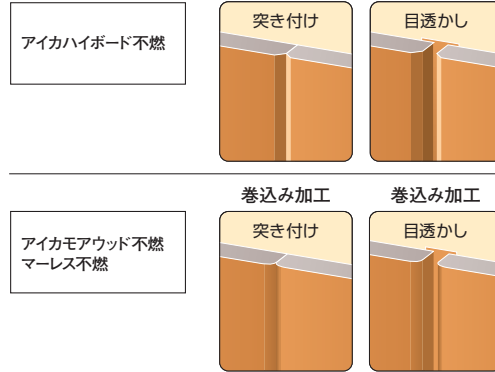
※アイカモアウッド不燃のモルタル面への直貼りは避けてください。

安全対策

溶剤系プライマー等を使用する際は、カタログ本体の裏表紙の「安全にご使用いただくために」の次の項目を追加実施ください。
1 換気には十分注意する。 2 火気及び換気に十分注意する。
3 皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク又は送気マスク、保護手袋、保護メガネ、前掛け等を着用する。

納まりについて

以下の不燃化粧板で木口処理が施してあるものは、突き付け施工も可能です。



加工工具

加工に関する道具は下記をお使いください。但し、ハマカケが起らないように刃物は新しいものをお選びください。

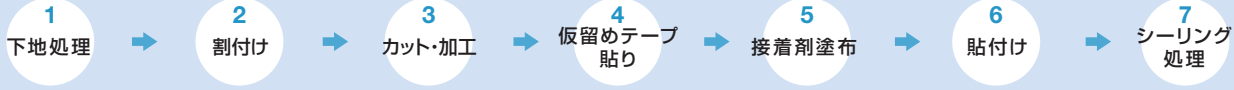
- 切断加工 防じん丸ノコ (チップソー・ダイヤモンドソー)

施工時における切断刃物について
刃物の規格は「外径」「刃厚」「刃数」よりなっています。「外径」「刃厚」はお手元のハンディソーに合ったものを、「刃数」はできるだけ多いものをご使用ください。

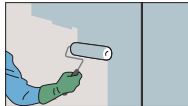
チップソー推奨工具	外径:185 ^m /m 刃数:72
-----------	------------------------------

- 穴あけ加工 ドリル(直径12φ以下の場合)、ホールソー 自在ざり(直径12φを超える場合)
- 仕上げ サンドペーパー、ヤスリ

施工の手順



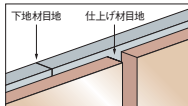
1 プライマー処理



- 下地材がモルタル面・合板・けい酸カルシウム板の場合、全面に予めプライマー〔アイカ エコエコボンド JW-900N(溶剤系)もしくはRA-900(水系)〕を塗布してください。

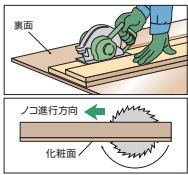
■標準塗布量:
3×8サイズで4~5枚分/kg

2 割付け

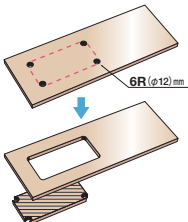


- 下地材の目地と仕上げ材の目地が重ならないように、割付けてください。

3 カット・加工



- 切断は当木を用いて、必ず刃物を表面から入れて裏面から出るようにしてください。(表面には保護フィルムが貼ってあります)
- 穴あけ 切り欠きは必ず6R(φ12)以上の刃物を用いて、表面からコーナー部に穴をあけてから行ってください。



穴あけの手順

- ①ドリルで四隅に穴をあける。
- ②ノコでカットする。
- ③カット面を面取りする。

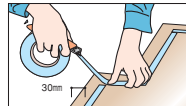
切り欠きの手順

- ①ドリルで角に穴をあける。
- ②ノコでカットする。
- ③カット面を面取りする。

🚫 ご注意

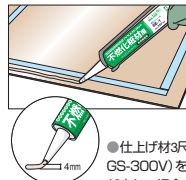
図のようにピン角でカットした場合、クラック発生のおそれがありますので、切り欠きでなく、複数枚を使用する割付けとしてください。

4 仮留めテープ貼り



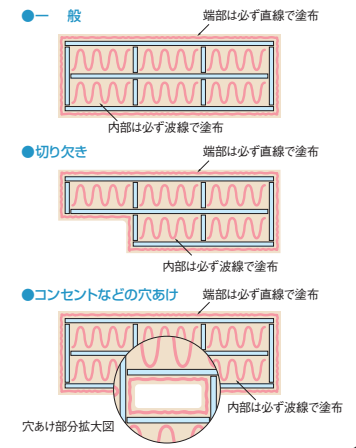
- 仕上げ材の端部に接着剤を塗布するためのスペース30mmをあけて、仮留めテープを貼付けてください。貼り付けたテープをよく押さえてしっかりと圧着してください。

5 接着剤塗布

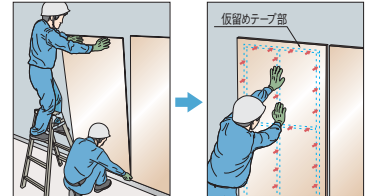


- 接着剤は高さ4mmで塗布してください。
- 仕上げ材外周には必ず接着剤を塗布してください。(外周塗布がない場合や、塗布量が少ない場合には、端部の浮きが発生することがあります)
- 仕上げ材3尺×8尺1枚に対して、接着剤(SE-1, GS-300V)を1本が目安の塗布量です。塗布量が少ない場合、割れなどの原因となります。
- 接着剤塗布後10分以内に貼付け圧着してください。

【標準塗布パターン】

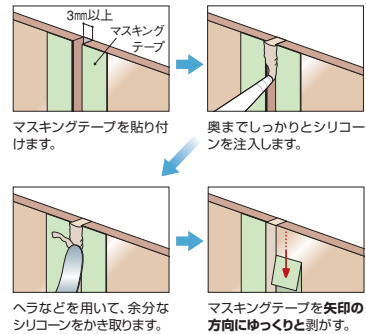


6 貼付け



- 中央部に浮きが発生しないように注意して、仕上げ材を貼付けてください。
- 仮留めテープ部をしっかりと押さえてください。※接着剤部を押さえると立き割れの恐れがあります。

7 シーリング処理



- 3mm以上 マスキングテープを貼り付けます。
- 奥までしっかりとシリコンを注入します。
- ヘラなどを用いて、余分なシリコンをかき取ります。
- マスキングテープを矢印の方向にゆっくりと剥がす。

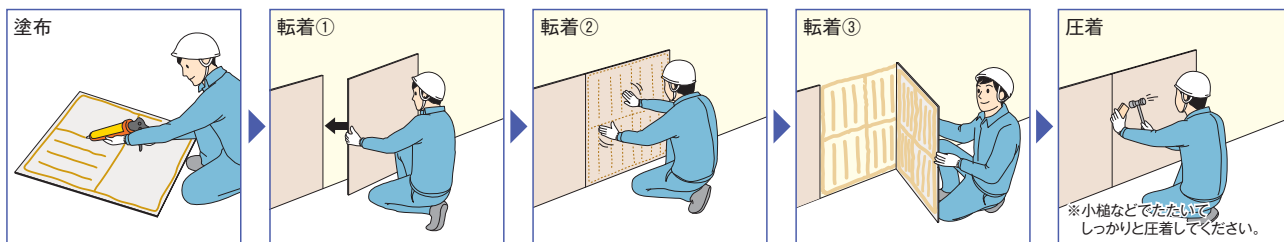
完成

施工ガイド

アイカ腰壁システム・サンタリー巾木・マーレスボード壁面施工

内装パネル・部材施工用接着剤 RQ-760N 施工ガイド

パネル



見切り

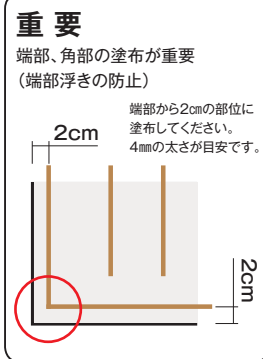
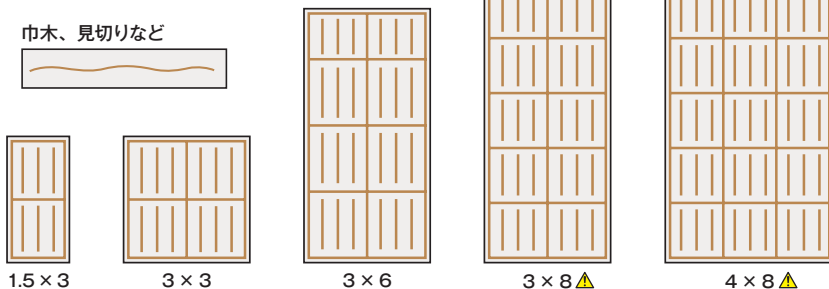


[接着剤の塗布時のご注意]

- 外周に必ず塗布してください。(端部浮きの防止)
- 端部から2cmの部位に塗布してください。4mmの太さが目安です。(転着して端部まで広がる位置です)
- 仕上げ材3尺×3尺 2枚に対して、接着剤(RQ-760N)を1本が目安の塗布量です。

塗布パターン

※450mm角より小さくなるように塗布します。
外周塗布が不足すると端部が浮きます。
内側の塗布不足も浮きの原因になります。



注意

※3×8、4×8など大判サイズの施工は転着不良に注意! 転着の際、手が届きにくい上部や下端は、過乾燥や圧縮不足など転着が不十分になる懸念があり、施工の際2人作業とするなど十分にご注意ください。(事前に作業が可能かご確認ください)

■施工手順 (例:化粧合板の壁面施工)

- 下地、パネル材のゴミ・鏽・埃・油脂・塗装を落とし、良く乾燥させてください。
- 塗布パターンに基づき接着剤の塗布幅が4~5mmになるようにピート状に塗布してください。化粧合板の場合は端部から2cmの位置が塗布の目安です。
- **塗布後すぐに**接着面同士を重ね合せ、上から手のひらで十分に押さえつけ、接着剤をよくなじませてください。(下記イラスト 転着①~③)
- 仕上げ材を一旦削り、**夏場5分/冬場10分程度放置乾燥し(手でふれてベトツキがなくなるまで)**、再びもとの位置に貼り合わせ、当て木をして小槌などでたたいてしっかりと圧着してください。
- 転着後の**貼り合わせ可能時間は、夏場5~60分・冬場10~35分**です。**過乾燥に注意**し、手でふれてベトツキがなくなったらすぐに貼り合わせてください。
- 貼り付け後は、接着剤が硬化するまで養生してください。

■施工上の注意

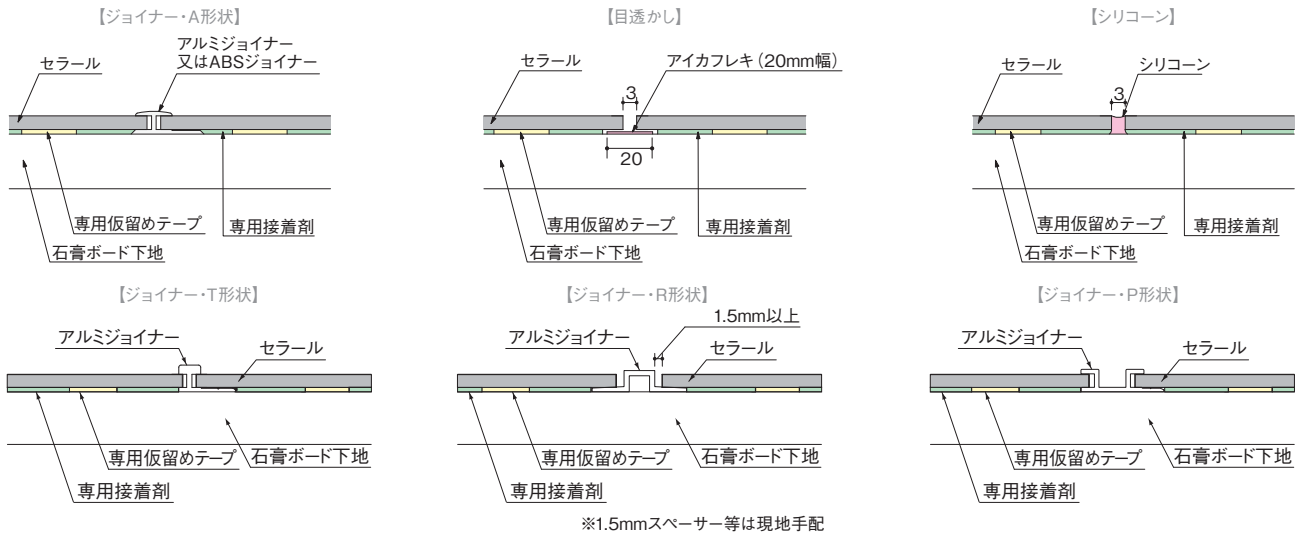
- 転着し一旦剥した際、**下地と仕上げ材双方に接着剤が付いていることを確認**してください。転着が不十分な場合は、塗り足すなどしてください。
- パネル材の施工では外周の端部塗布が重要(端部の浮きを防ぐ)。
※天井面への化粧パネル施工には適していません。
※セラールの施工には適していません。セラールの施工には使用しないでください。
※艶有り化粧ボード、薄物化粧MDF(3mm程度)では貼りあがり外観が悪くなる場合があります。ご使用を避けてください。
※建築基準法・火災予防条例などの法令・法規に従って施工してください。

納まり図 3 (3mm厚パネル用)

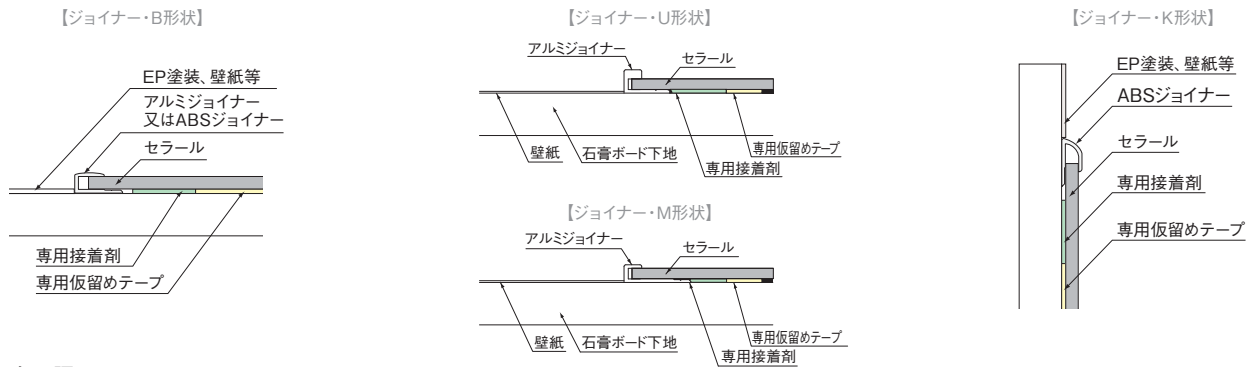
メラミン不燃化粧板

セラール

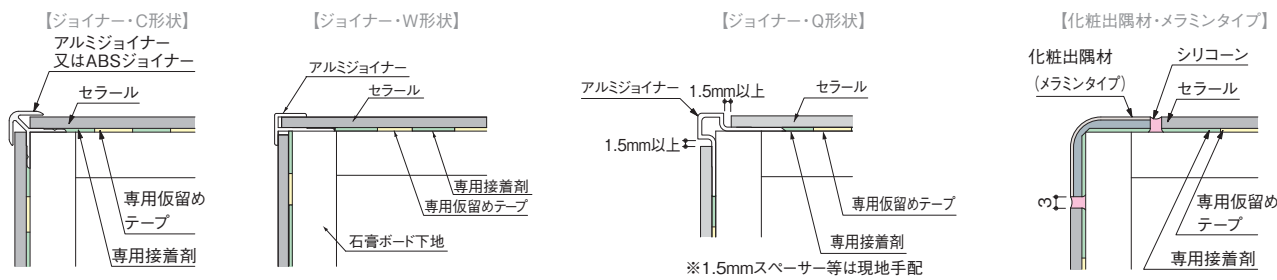
平目地



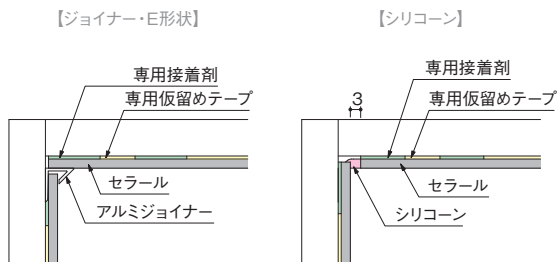
見切り



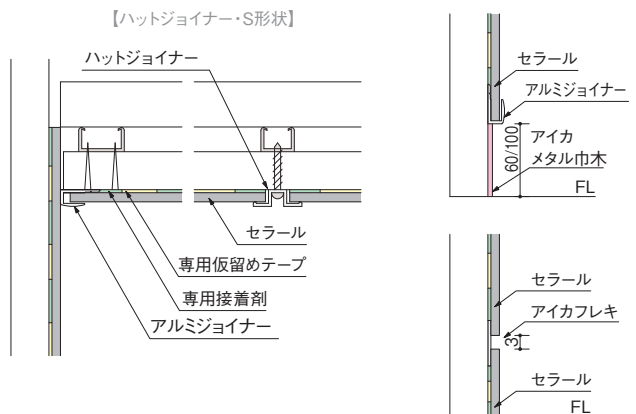
出隅



入隅



天井/壁/床



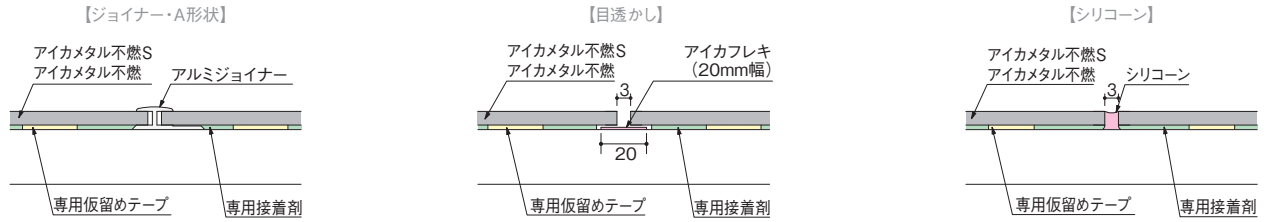
※セラーを巾木としてお使いいただけます。

納まり図 3 (3mm厚パネル用)

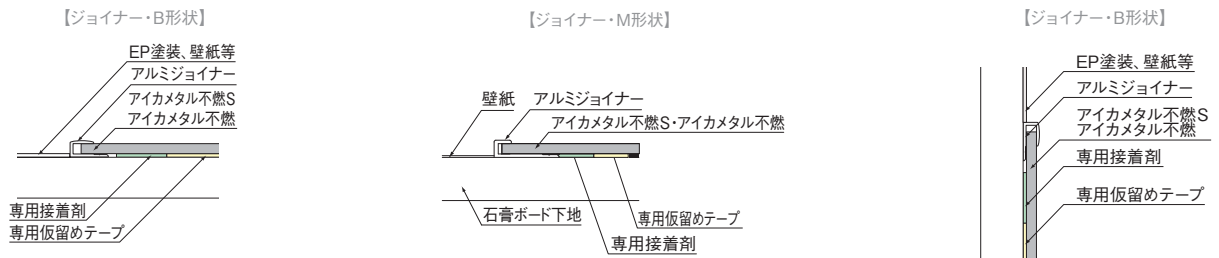
金属箔塗装不燃化粧板

アイカメタル不燃S・アイカメタル不燃

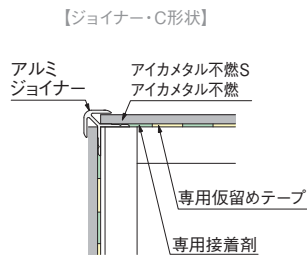
平目地



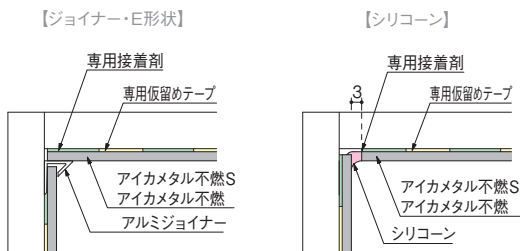
見切り



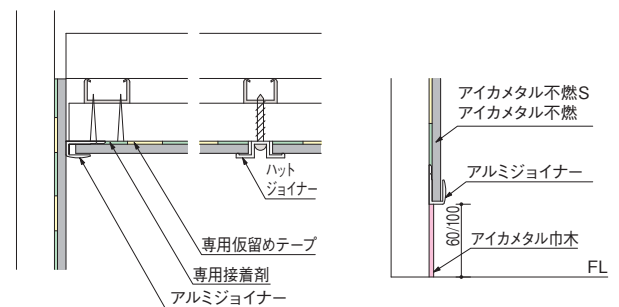
出隅



入隅

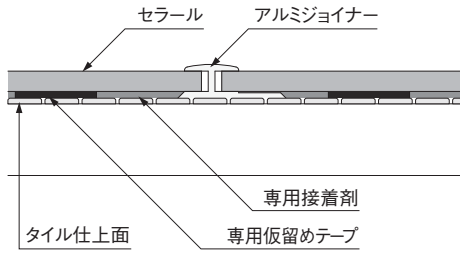


天井/壁/床

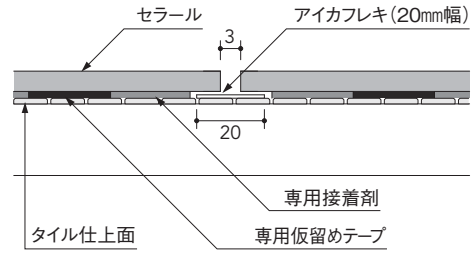


平目地

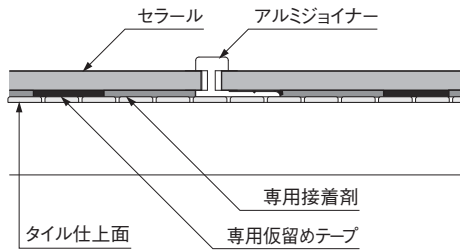
【ジョイナー】



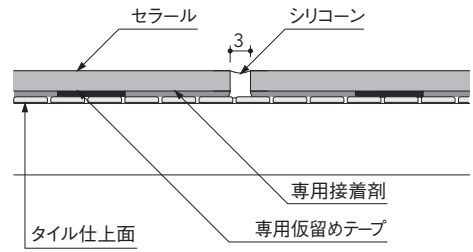
【目透かし】



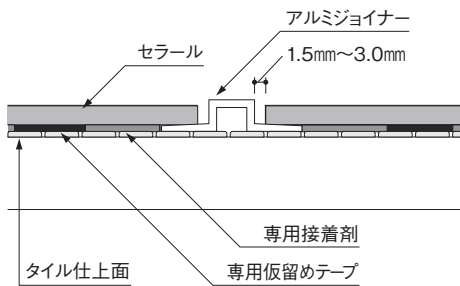
【ジョイナー】



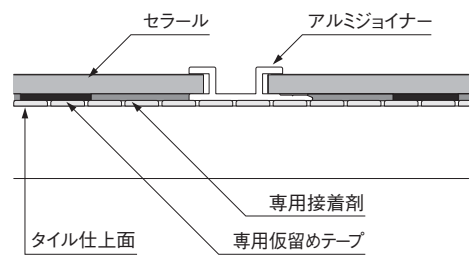
【シリコン】



【ジョイナー】



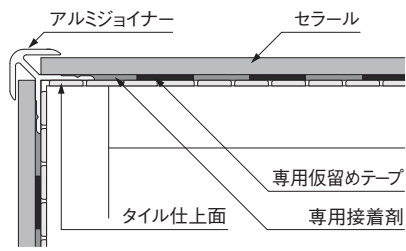
【ジョイナー】



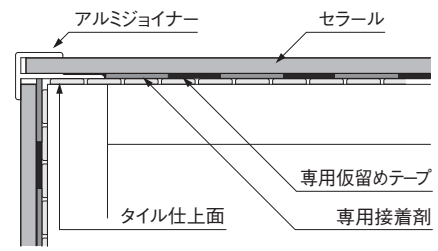
※1.5mmスペーサー等は現地手配

出 隅

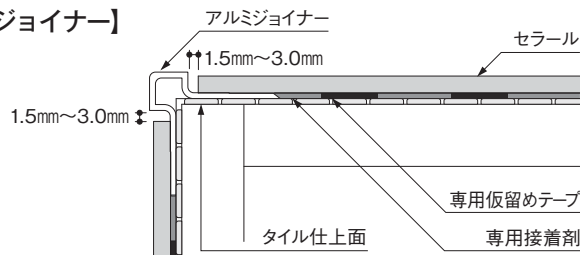
【ジョイナー】



【ジョイナー】

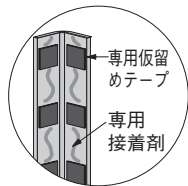
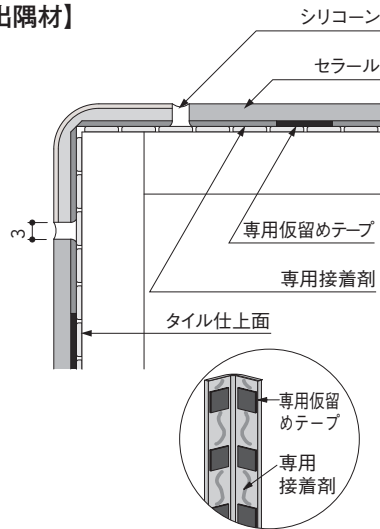


【ジョイナー】



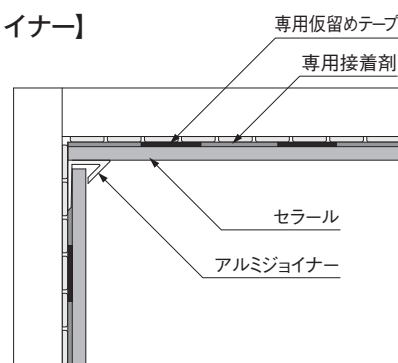
※1.5mmスペーサー等は現地手配

【化粧出隅材】

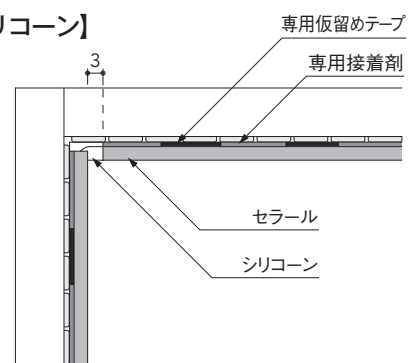


入 隅

【ジョイナー】



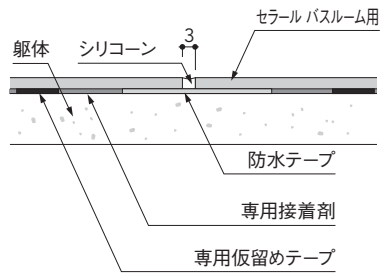
【シリコン】



バスルーム用 バスルーム壁・天井用／納まり図

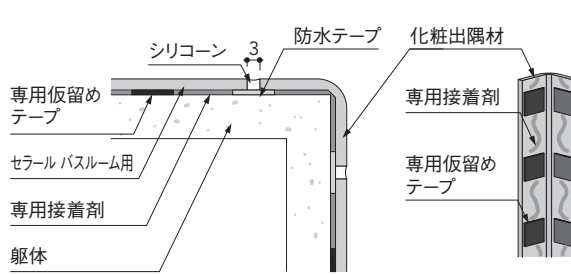
平目地

【シリコン】



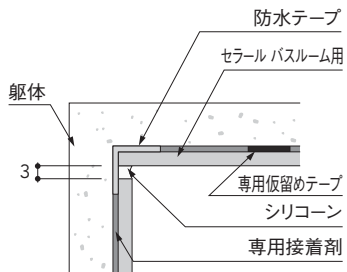
出隅

【化粧出隅材】



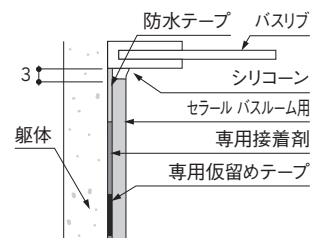
入隅

【シリコン】

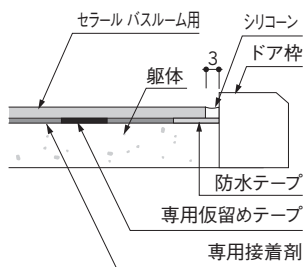


壁 — 天井

【シリコン】



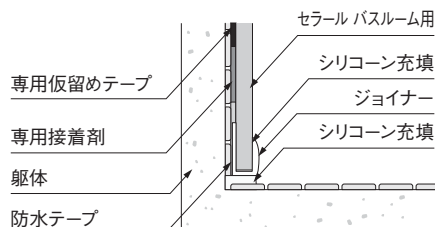
ドア枠廻り



壁 — 床・防水パン

on tile

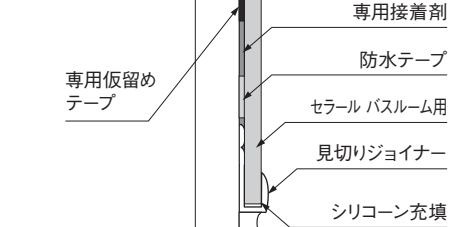
【ジョイナー】



壁 — 床・防水パン

平滑下地用

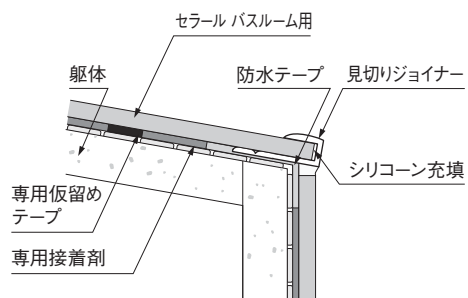
【ジョイナー】



出 隅

on tile

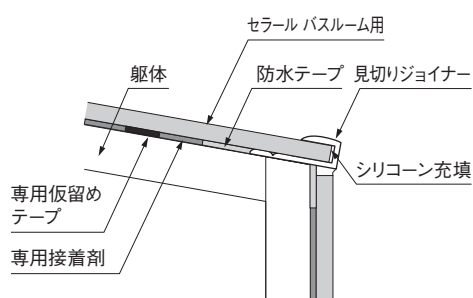
【ジョイナー】



出 隅

平滑下地用

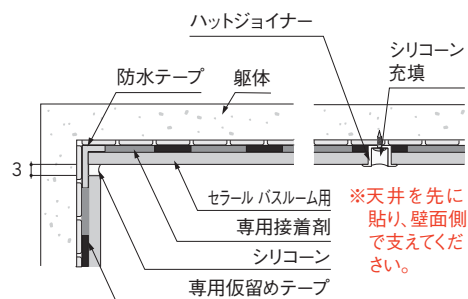
【ジョイナー】



壁 — 天井

on tile

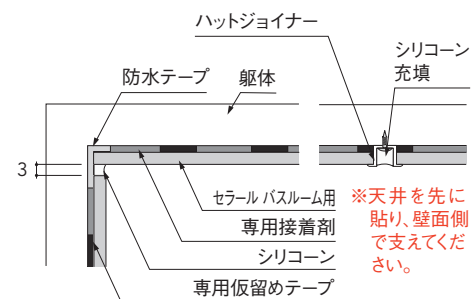
【ジョイナー】



壁 — 天井

平滑下地用

【ジョイナー】



天井施工についてのご注意

下地について

- ① **バスリブへの直接施工はやめてください!** 接着面積、下地強度不足が剥がれの原因となります。
- ② **ALC躯体への直接施工はやめてください!** 下地強度不足が剥がれの原因となります。
- ③ **塗装表面への直接施工はやめてください!** 塗膜剥離が剥がれの原因となります。

十分な強度を持った下地作製、下地表面処理を行い施工してください! 施工可能下地については「製品同梱の施工説明書」を参照ください!

施工方法について

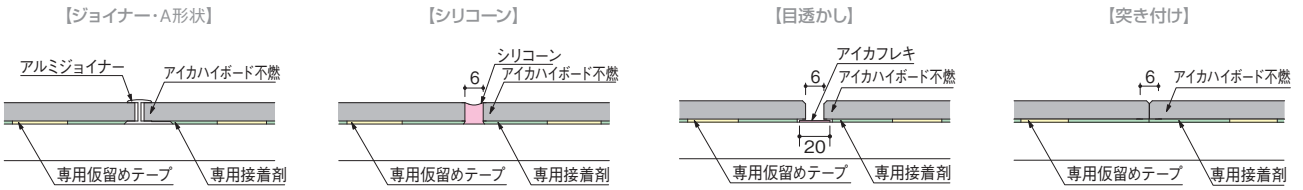
- セラールバスルーム用の重量は5.2kg/m²です。
- 落下の危険**がありますので、サイズは3×4尺以下として**ハットジョイナーを必ず用いて**納めてください。
- 防水テープは**下地側**、接着剤・仮留めテープはセラール**裏面側**に塗布してください。

納まり図 6 (6mm厚パネル用)

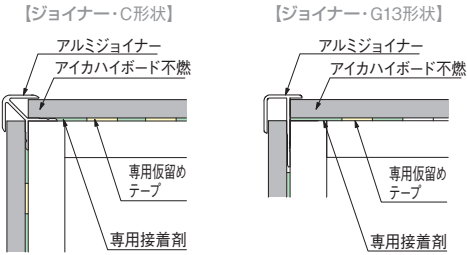
ポリエステル化粧けい酸カルシウム板

アイカハイボード不燃

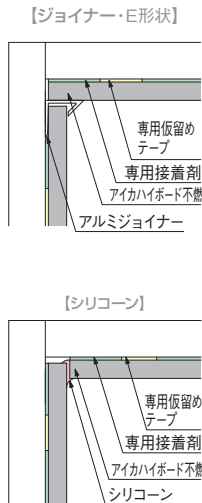
平目地



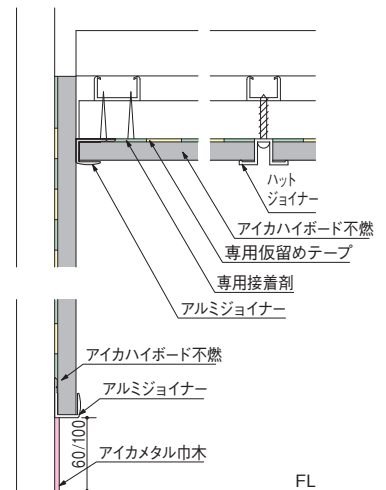
出隅



入隅



天井/壁/床



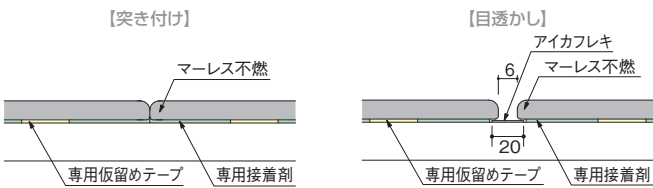
腰壁システム用出隅もご用意しています。

- 柄バリエーションはP.79の腰壁標準柄となります。
- この他に純木モールもご用意しております。

耐摩耗不燃化粧板

マーレス不燃

平目地



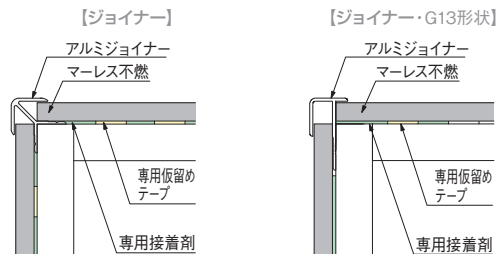
※切り放しの場合

【ジョイナー】 アルミジョイナー マーレス不燃

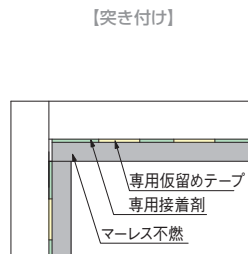
【目透かし】 マーレス不燃

※マーレス不燃の切り放し端部に手や物が触れると、表面シートが剥がれる場合があります。切り放し仕様の目地や見切り部分は、ジョイナーなどで必ず端部を保護してください。長手面巻き込みの短手切り放し部分が手や物が触れる位置に来る場合も、同様にジョイナーなどで必ず端部を保護してください。

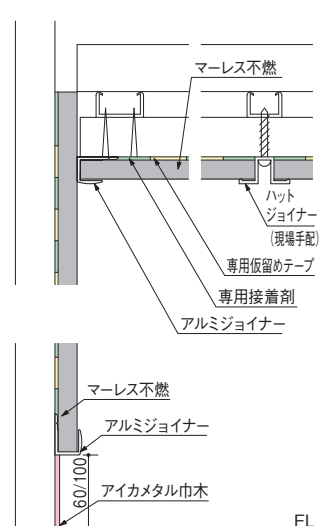
出隅



入隅



天井/壁/床



腰壁システム用出隅もご用意しています。

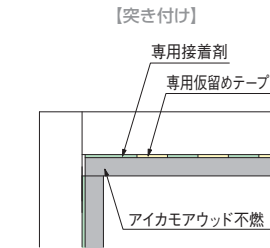
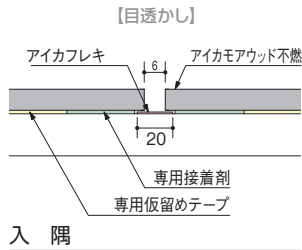
- 柄バリエーションはP.79の腰壁標準柄となります。
- この他に純木モールもご用意しております。

納まり図 6 (6mm厚パネル用)

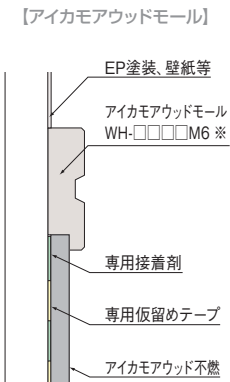
突板塗装不燃化粧板

アイカモアウッド不燃

平目地

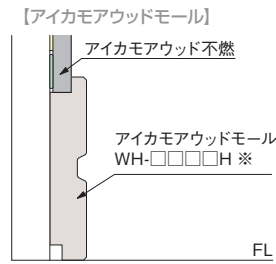


見切り

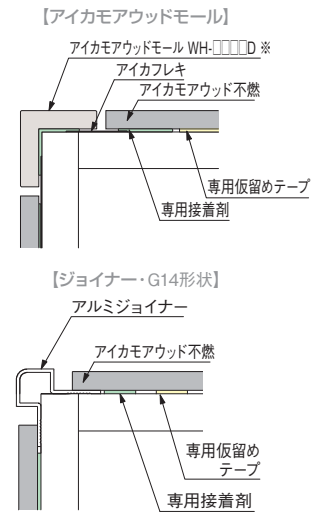


※アイカモアウッドモールは対応柄に制限があります。

床



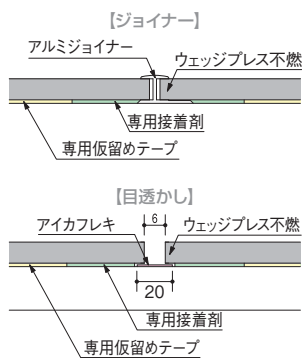
出隅



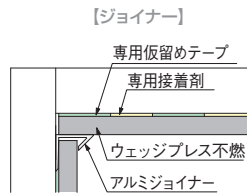
エンボス不燃化粧板

ウェッジプレス不燃

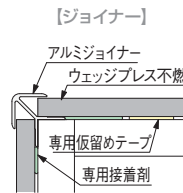
平目地



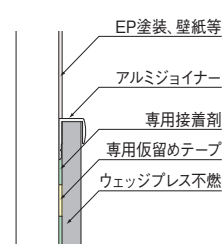
入隅



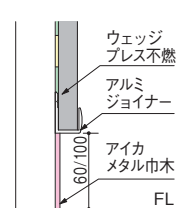
出隅



見切り



床



納まり図 3 6 (3mm厚・6mm厚パネル用)

3mmタイプ・6mmタイプ

アイカ腰壁システム

納まり図 ※セラルールエッジはW910mmの端部R仕様です。割付の際はW910を基準としてください。

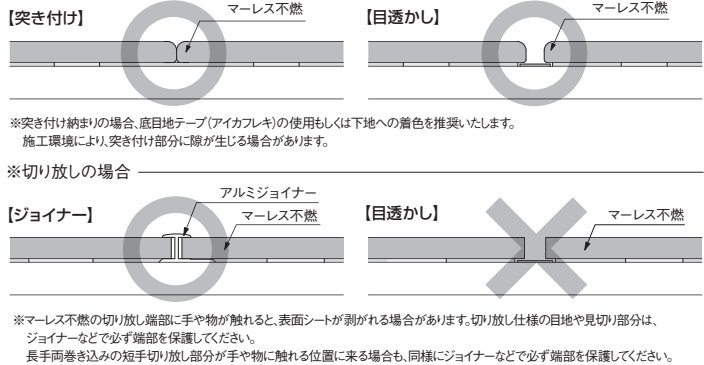
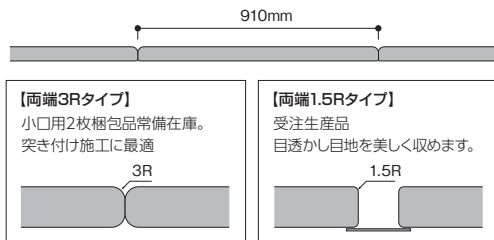
セラルールタイプ		マーレスボードタイプ		マーレス不燃タイプ	
見切り	巾木	見切り	巾木	見切り	巾木
出隅	平目地	出隅	平目地	出隅	
<p>※ご注意 出隅部分はセラルールエッジのR部での納めとせずジョイナーや腰壁システム部材をお使いください。</p>		<p>目透し (セラルール) ※セラルールは突き付け施工できません。</p> <p>突き付け (セラルールエッジ) ※ ※1:室内環境変化により、目地が若干干透くことがあります。突き付け部分に「ネジ隠」が重なることもあるため、下地着色などを推奨します。</p>			

セラルール、セラルールエッジ入隅 / 枠際納まり	マーレス不燃入隅 / 枠際納まり	マーレス不燃・セラルール巾木仕様	マーレス不燃 平目地
			<p>【目透かし】 【突き付け】 【ジョイナー】</p>
<p>※セラルールエッジの入隅や枠際納まりにはフリアランスを取ってください。目地部分は底目地テープまたはシリコンで納めてください。</p>			<p>マーレス不燃はW910mmの両端巻き込み仕様です。割付の際は、W910を基準としてください。 目地は巻き込み端部を突き付けるか、目透かしで納めてください。 切り放し部分を目地にする場合は必ずジョイナーなどで保護してください。</p>

※マーレス不燃の端部を保護するジョイナーには、同柄のオルティフィルム貼り、または近似色塗染品を受注生産で対応いたします。価格及び納期についてはP47～P50をご覧ください。
※目透かし納め部分の底目地テープ(アイカフレキ)は20mm巾を使用してください。目地底テープの巾が広い場合、接着不良となる懸念があります。 ※セラルールエッジの両端は薄くなっていますので、取り扱いにご注意ください。

■ マーレス不燃の割り付け、目地納めの注意

マーレス不燃はW910の両端3R仕様です。突き付け施工が可能で、ジョイナー等を使用せず、目地納めを美しく容易に施工することが可能です。化粧目透かし貼りの際に目地を美しく収める両端1.5R仕様も受注が可能です。



■ 使用接着剤、施工方法 ※施工方法につきましては最寄の当社へお問合せください。

パネル・部材	使用する接着剤、施工部材	施工方法
セラルール、セラルールエッジ・マーレス不燃	専用接着剤: SE-1 専用仮留めテープ: ZK-31	仮留めテープと専用接着剤併用
出隅部材		
マーレスボード	推奨: ゴム系溶剤型(マスチック型) 接着剤 RQ-760N	マーレスボード、腰壁部材の片面に塗布し、下地石膏ボードなど接着する面に押し付け接着剤を転着。一旦剥がし、夏場5分/冬場10分程度放置乾燥し(手で触れてべとつきが無くなるまで)、再び元の位置に貼り合わせ、当て木をして小槌などでたたいてしっかり圧着する。
見切り・巾木・コーナー部材		